

拘束



カチヤ

そっち、右手やった？

カチヤ

カチヤ

はい！

ごめんねー
すこしの間がマン
してねー

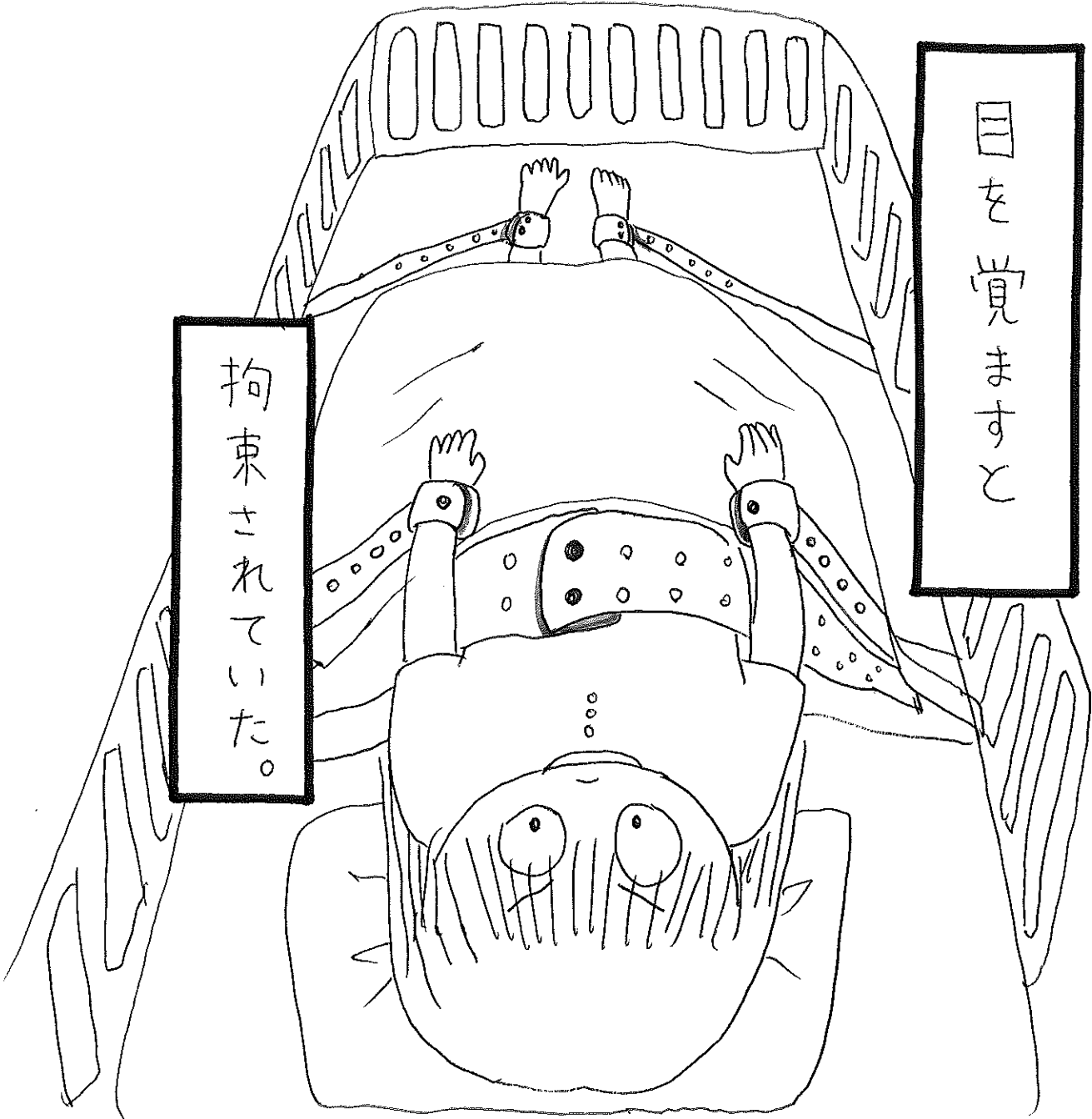
カチヤ

カチヤ

次は左手
ですなー

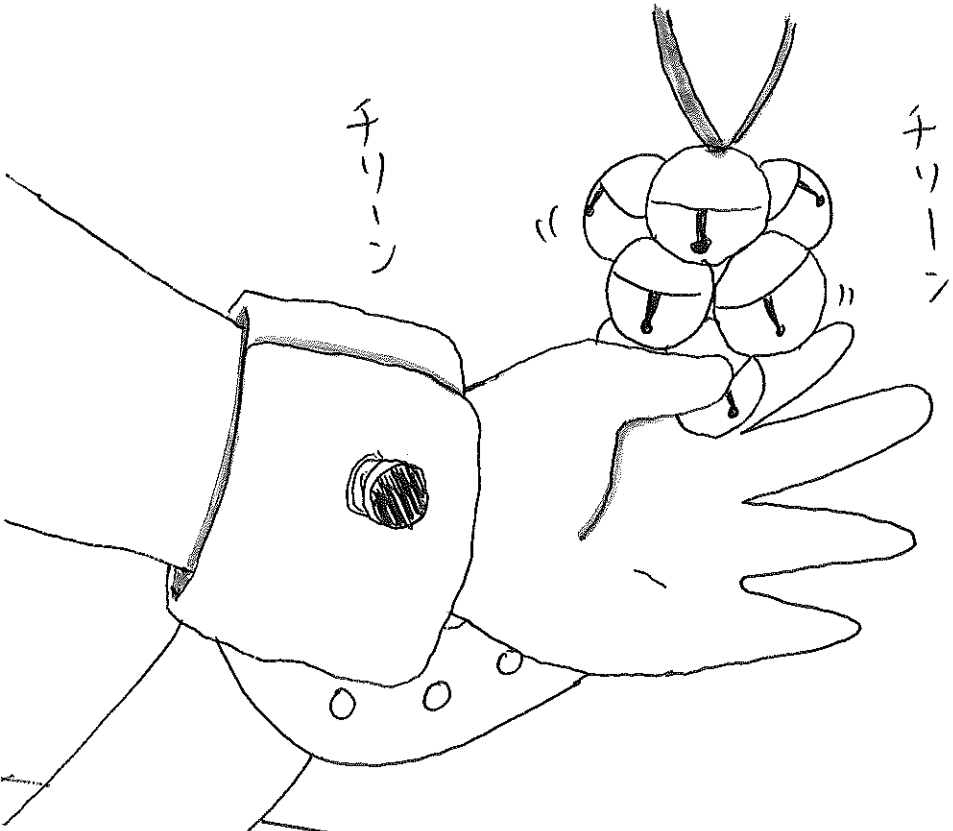
はい

カチヤ



拘束されていた。

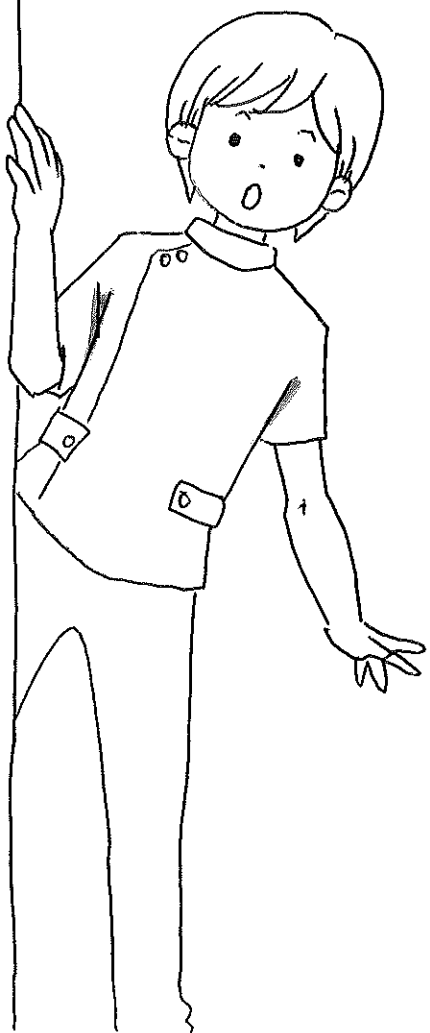
目を覚ますと



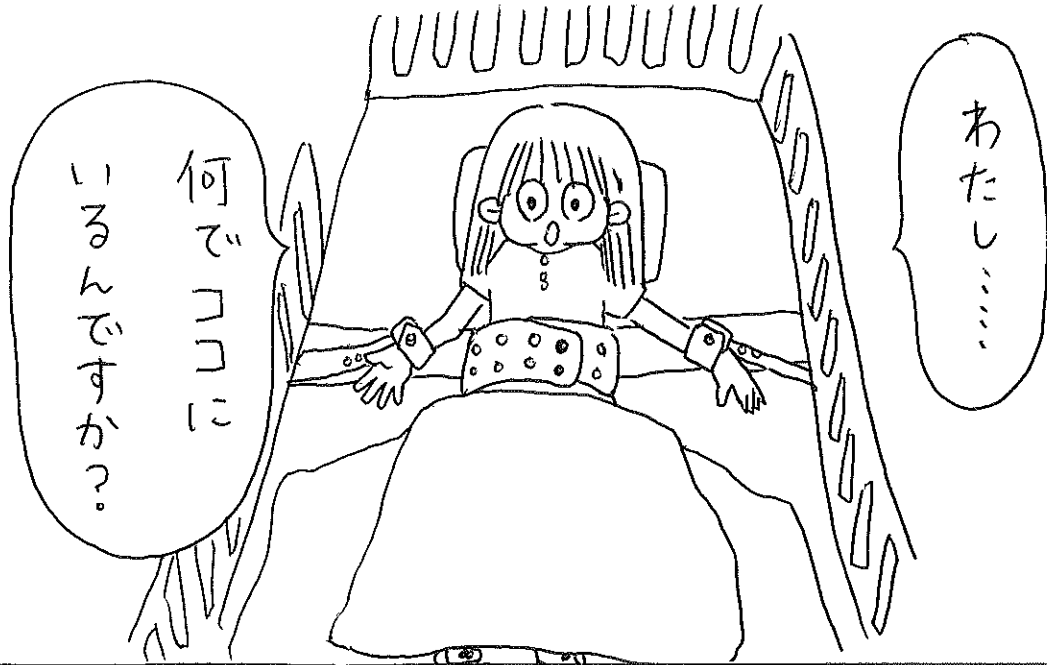
とりあえず手元にある
鈴を鳴らす。

看護師さんと呼ぶ
命綱の様なものだ。

カラ

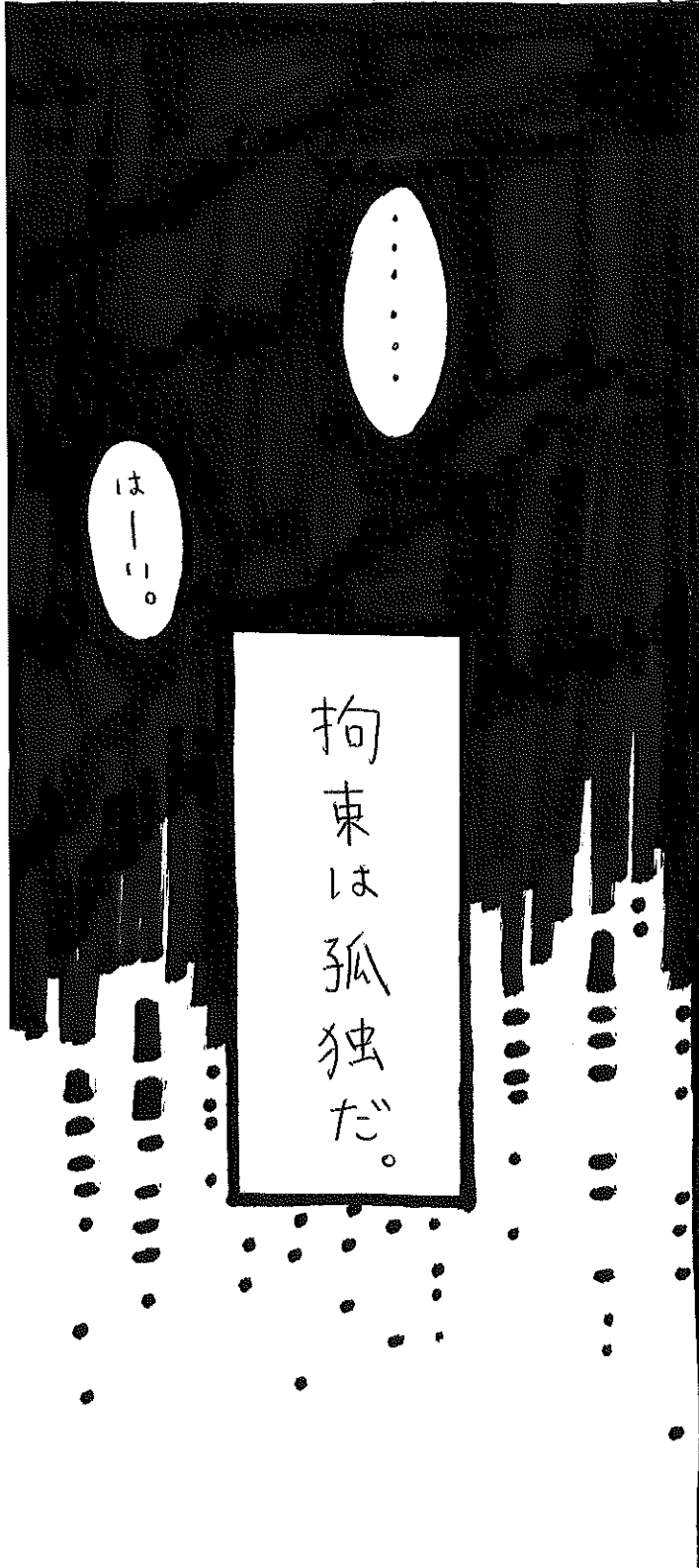


どうしたー？
呼んだー？



何でココに
いるんですか？

あたし……



拘束は孤独だ。

はーい。

……



昨夜、救急でそのまま
入院になったのよ。

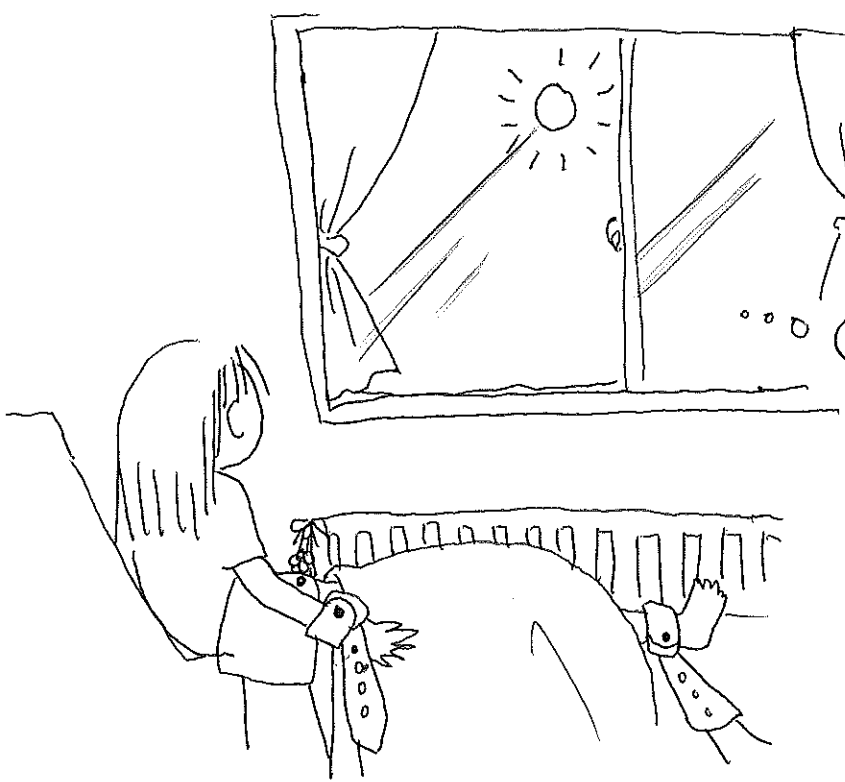
覚えてない？



あとで先生来ると思いうから
まあ、ゆっくりしてて。ね。

そうですか……

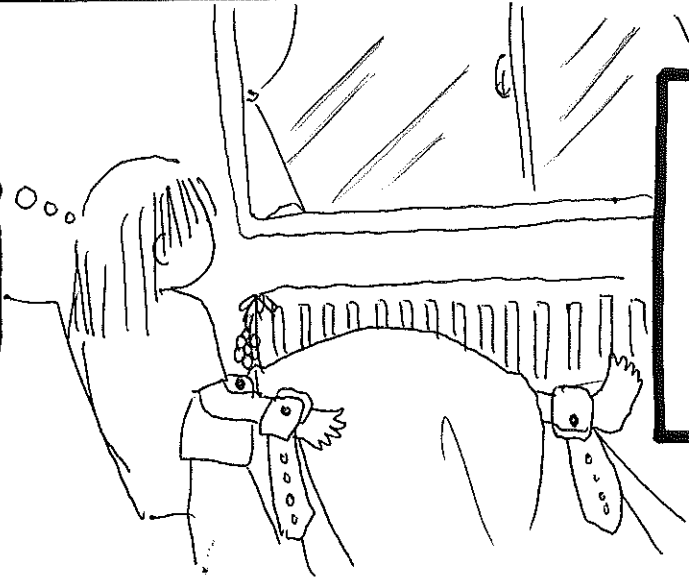
1時間後



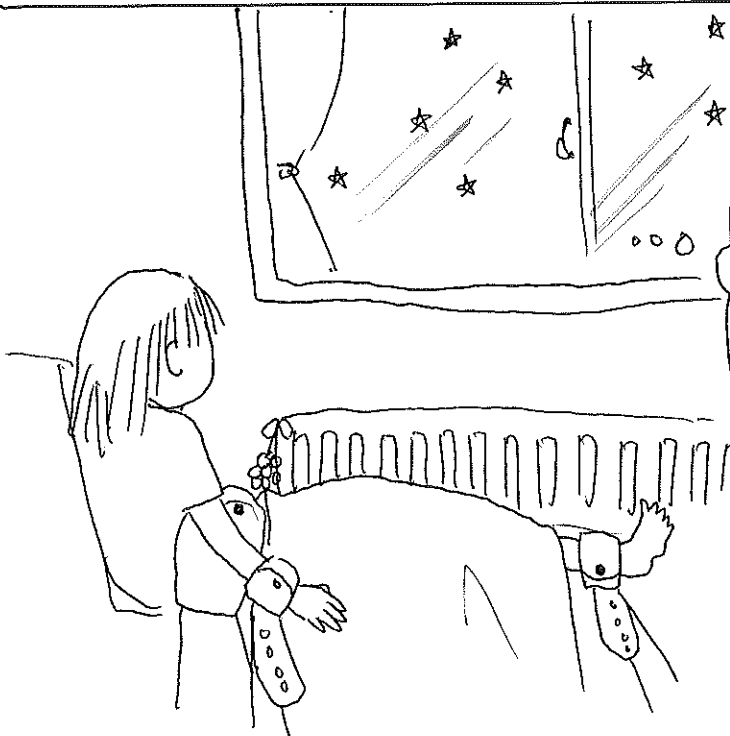
今…何時だろ…

今もし地震がきたら
わたしそのまま
へしゃんこかな…

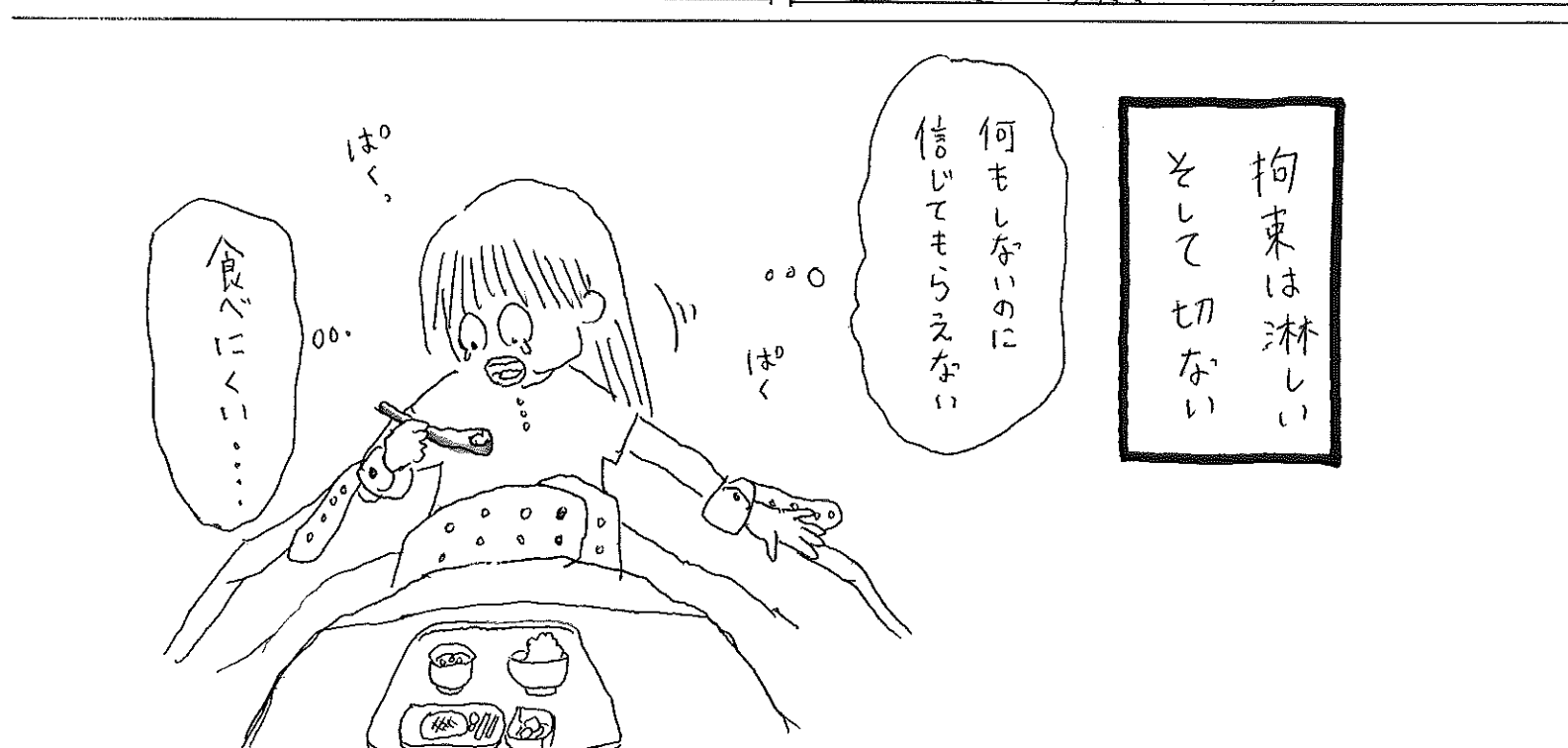
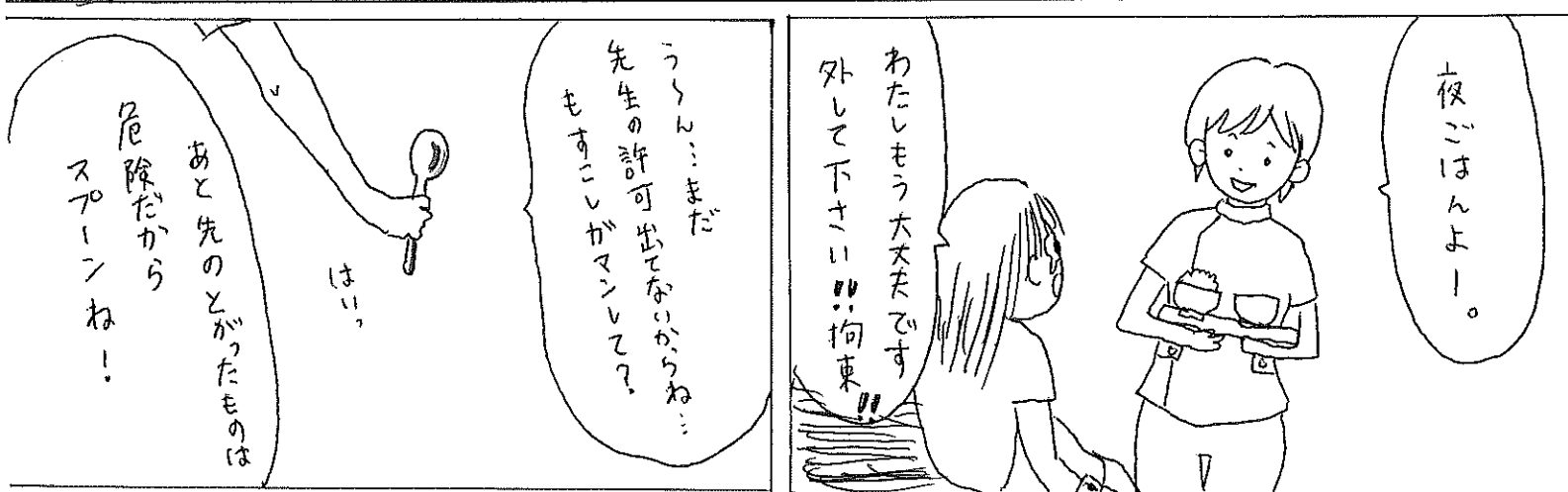
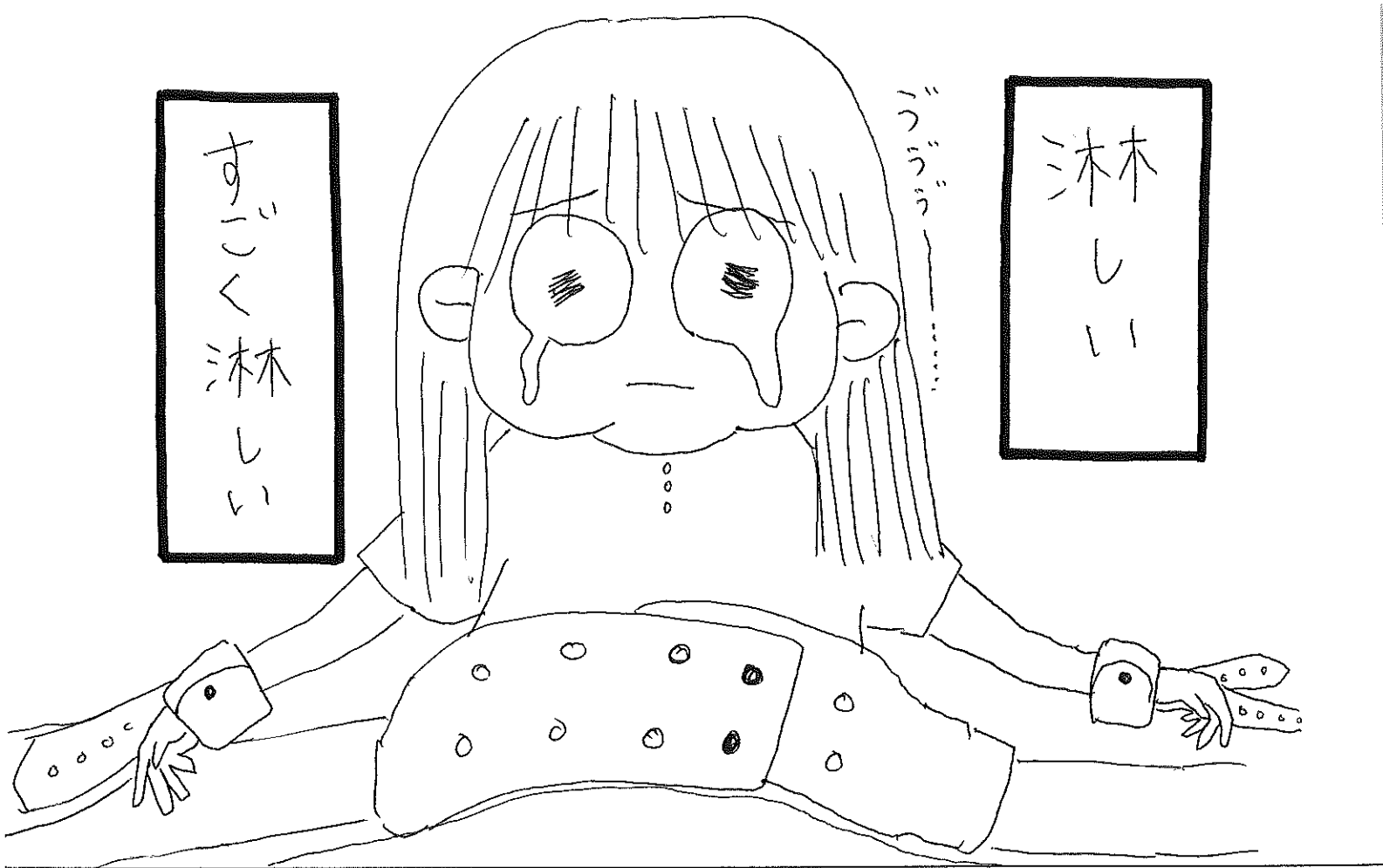
2時間後



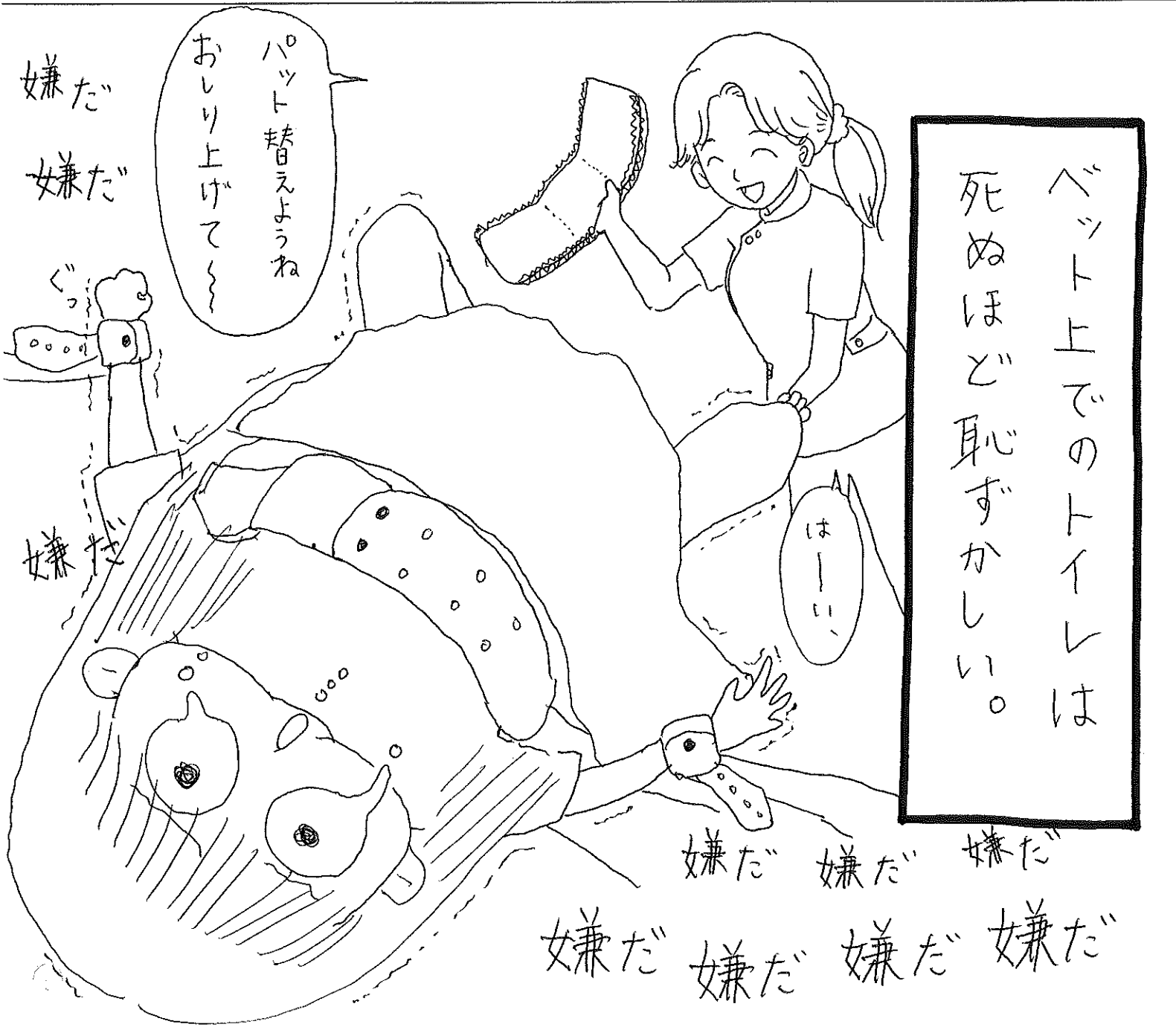
3時間後



カーテン閉めたいな…
おなかすいたな…
…動きたいな…



トイレが
したい。



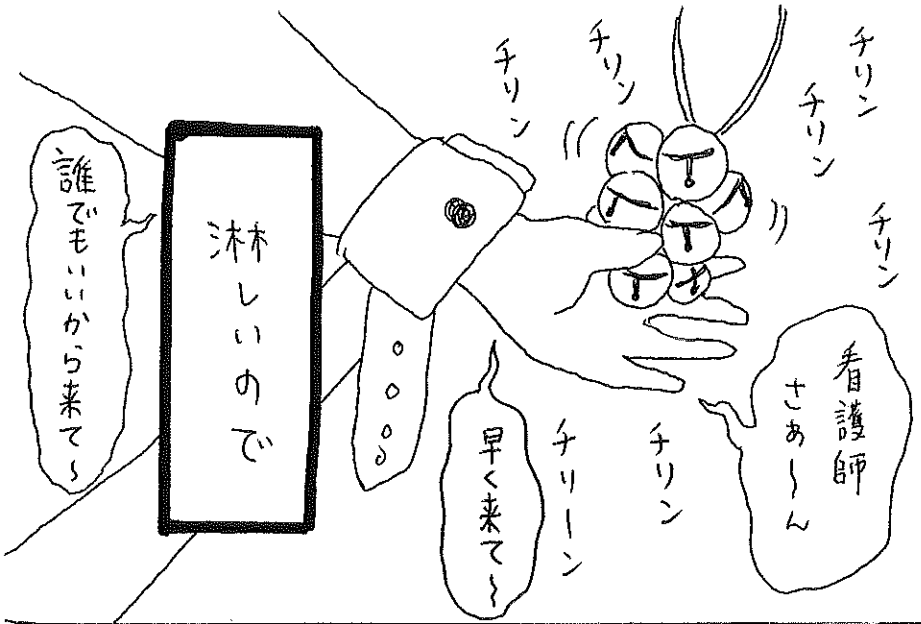
ベット上でのトイレは
死ぬほど恥ずかしい。

嫌だ
嫌だ

嫌だ

嫌だ 嫌だ 嫌だ

嫌だ 嫌だ 嫌だ 嫌だ



だけど、
それ以上に、



惨めだ。

おなかがいっぱいでも誰かに来てほしくて
お茶を飲みまくってトイレをする。